

所々い
 いど
 の位
 の差
 が
 かゝる
 か
 孝の
 質
 同
 形
 め
 つ
 る

元はつりし
町長より
お費は
方市田
佐と
馬子
との
解答
が
あ
つ
た

西村流長（華道今世造つて成業を練るといふことはしつぱうなうと思ふ）
との仲（にうや、楚成、夏敷あり 町長に一任業を造ることはなつた）

九の件

学校もあそびのじ早速工事に取
りかゝりぬいと思ふわいの
修置を快めて居るわい

ニルについで 野島 徹也 委員長 より

振興會の方には一應見て取られが、この味については建築
委員合に招て決定して取りとることであつた。これには通曉その
ものは振興會よりあるが、その位置の決定については建築委員會
にとりふことはなつて先日斜北で振ります。

烟地を買収しけり此は
なりたひの心
時期にもあり至急決定
しと仰せぬ

ニルハツルハ至急建築部へ今も申へん決意あるニモになつた

このことについて、常任幹事長以上の会を仰いで、県村館にいうやう風に、鄭くかといふことなど、話し、たが、その後、横川の横田都漢さんに頼んで、これに、田村(殿) 瀧古満員に、傷いて、復いたのび、両氏に、在過を、話し、して、所々、これからの、行方、一入を、決めたい。

調査しなす。だが、這入れるとするは、大井達馬である。昨年、からやつ

此の通り、思方、元ハ王子の三所村の老母を聞いし
 日内ハ一喜ハあり、ハ云ハリカ日、多ハ時、六四ハリカ日
 の費上げ
 此の通り、思方、元ハ王子の三所村の老母を聞いし
 日内ハ一喜ハあり、ハ云ハリカ日、多ハ時、六四ハリカ日
 の費上げ

八ヶ野村 既に出来ぬ

横田柳 議かうの議によると 柳は通る見込はあるが問題は
衆議院のつ、かへる 心配があるという事である

北多戸部 には三橋が通る とうしはここから北多戸部
には調定地けり議あり 柳の通る通るとうしてある

二小につて書類を出すことになるが この書類がなか／＼厄介
な書類であり とうし本といふやうなものも 南多戸部から内務
に送り来たが 二小を出すか否かをよく 協議して戻さるい

と思ふ。 普通通の運動には 協働がない、二小は相当な心構を
以てやらないと。

議取より 用序式もあることであり 二小中とまだ他に協議事項は
あるのび二小 終きは明日午後三時から 協議会を用さるゝがと

二小に 金受 楚成 四時 終了 した

36
12
4800
12
60,000

福生町議会議員名簿(昭和26年10月1日 協成会)

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
✓		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
船木甚平	村尾種吉	野島毎	貫井伊作	中野七五郎	高橋三郎	瀨古清藏	設樂美知	田村福一	井上頼太郎	森田喜一	石川武雄	田村政一
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
✓	✓			✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓
高橋彦市	田村利一	西村節	村尾四郎	村野盛一	村野喜平	鮎沢美代子	森田誠重	田村幾太郎	井梅泰輔	橋本雄一	森田幸藏	並木竹松

昭和の協和



三、一〇、一、午、協和、令、協和、令

若、藤、浅、次、森、田、村、尾、西、村、浅、次、他、若、藤、次

所、長、即、返

一、青年、運動、会、の、神、助、に、つ、い、て

神、助、を、頂、き、ま、い、と、い、ふ、証、が、あ、つ、た、が、あ、日、の、フ、ロ、グ、ラ、フ、に、は、浅、次、一、同、と、し、て

全、額、が、あ、つ、た、が、ま、だ、表、決、に、は、あ、り、な、い、が、こ、れ、に、つ、い、て、如、何、に、す、べ

き、か、と、浅、次、ま、い、て、い、

又、こ、れ、と、あ、り、に、輝、人、会、を、盛、の、板、老、会、に、つ、い、て、の、寄、附、の、味、を、決、め

ら、せ、ま、い、

こ、れ、に、つ、い、て、西、方、は、三、つ、い、て、内、外、あ、り、こ、れ、に、決、ま、し、今、後、の、こ、れ、に

つ、い、て、浅、次、道、場、に、わ、る、や、う、一、任、と、い、ふ、こ、と、に、決、ま、し、た、

二、遺、族、の、方、より、の、陳、情、書、に、つ、い、て

所、長、が、陳、情、書、を、朗、讀、し、

是、今、朗、讀、の、通、り、今、日、百、四、名、が、出、張、や、通、信、連、絡、費、等、が、か、か、る、諸、説

北史の事いふあり、靖國神社に考辨せしむるべし、陳啓書に厚生
 会予算書也、添へて来たる、ニの予算、歟、七、八〇〇円、尚、ニの次事は
 書面を以て、次事を、添へて、その事いふあり

（説集） 厚生季曼合としての考へはなりか

田村義
今の
二
何にも考へない

その内
眞キ
答
があつたが

厚生委員会
議決の上
議會に出し
て預ること
に決した。

三
鼓
馬
に
つ
い
て

先日田村(敬)委員長と都一の財務局の地方課に行つて来たがそれは
~~作中~~ 現世の競争法の一部を説明して戻つたが何としても馬が
 少ないとの事である 三鷹も都一の方は許可となつたが新越に
 は許可しない方針との事であるがその流の中には含みがあった、

地 方 一 年 許 可 に つ いて は 中 心 地 があるところではない

中野(壺馬)に刺心には何か
ワッ・カあるか

（町長）被害の少い町村は一年を切つて一回限りといふやうな町とある
橋本 今迄に割込みした町村があるか。

(野矢) 九小はなつ。

(瀧吉) ティー人の説きが一萬や二萬を省しても總力を挙げてもやるん
 がたいとお束なれと思ひ、お事なれやうな外に刻むの地から。

田村(錢) 有言。鼻曰。但使。如。二。思。子。

高橋曰　これは普通のことは新込めは、それには所長が失に立って
議論を新張つて行くといふやうな事になり限り這入らなひ。

田村(義) 痛生町としては條件にかなうところから無理に割込む可能性はある

井梅
やるか、やらないかの
賛否を取る必要はないか、

(町長) この豊甲については町の財政からではなく町長議長に見付けてやることによつてやるなら結構と思ふ今一日五円直ぐおすと一ふ

(田村 綱) 書類だけは出すことにしたらう。

(野島 由) いう、(多) 調査をしなして、一巻やることにしたらう。

(高橋 三) 二〇五か三〇五往か入の見て様子が必要の場合には上げてしまふことにしてやつたらう。見て通しをつくらぬまひやる。

(田村 義) 成印する近には一〇〇五往か入と言ふことだ、三〇五往か入の様子によつて見通しをつける、またそんなに使つ前に見通しかつつかも知れない。

(町長) それは最上五〇五往か入といふのも、まあなつと困る。

(橋本 課長) 南部の、今町長の申込によつては組合が買ひのびまとなりもうもないといふやうな状況であつた、浅川、茅のものは取れ入るといふやうな気運が見られ浅川、茅が二、三続つたのび乗積する手はあるではなつかと思はれる。

(新橋 三) 單獨でやるといふ相生と、南部の、今町長の申込によつては、つてやると言ふことは、思つて居る。

(議長) やると言ふことは、浅川、近日本会議を用ひて決議して、後々はい、やることについては、思はないか。――「思はない」多数。

これでは、この件によつて、議会の際には、資金の調達、心配もあるから、御承知願います。

(田村 義) 書類を作製することによつて、特別委員会を造ることにならう。いなか、これによつて、早急に書類を提出する。

(議長) その特別委員会はいかやう構成とするか。

(この特別委員会によつて、この構成に、審議が重ねられ、結果は)

全部の議決に、仰ぐ、決断が、主眼になつて、早く議決として

瀬谷、高橋(三) 田村(義) 議長に、町長、正副議長とし、思はなく決定した。

而してこれによつて、小委員、今後は、明日午前九時から、町議決は、是なり。

又この起草によつては、委員、委員長が、参加して、早くすることになつた。

四、茅三小學校によつて、

(所長) 野島田村西議員に仰いで頂き、工事のめづきり進んで来た。やうく本日第一小学校の第三小学校の開校式をやつた。先生も十四名見へて、いろいろ話を伺つた。良い先生が集つた。

学校建築の金融面であるが、二五〇万円の借入して工事を進めよう。中同じ八月下旬と思ふがその貸金の内百〇万円をかりして預けたが、これを又貸す。このことについて承認を頂きたい。この金は正事が終了の場合二五〇万円の金額をかりして返くことになつて居るが、この金を工事金のうちから差引くといふ事にはなると工事の進捗に影響が大きいので、この件については返す考をたい。二五〇万円の工事金に二五〇万円のうちの幾分かを加へて返すことになると思ふ。

といふことの甲入がなつた。市審議院に
田村議員より退場。

(野島田) 竣工は十日一杯の予定で、大田から授業が始まると思ふ。

組のこの工事の喰ひは約四〇〇万円位のやうである。

こうしなやうなことがある。二五〇万円の融資はものまゝにしておく。これが工事の進捗を円滑にする。

いづれにしても工事終了の場合には、二五〇万円の工事金は支拂い二五〇万円の貸金については耳を揃へて返却するやうにしてある。

(中野) 現金支拂つてある金額はいくらか。

(所長) 二五〇万円の融資として、二五〇万円の計、二五〇万五千元の出金。お先日五〇万円の支拂をしたが、これは貸金と借金の差。このうち、折限以外のことをした。これは庫の金具等について、これを取付けたい。工事の完成した部分には支障があるために、をうした。

(井上) 差あり、二五〇万五千元の外、二五〇万円の支拂いなのか。

(所長) そうです。

(井上) 工事完了の際は、二〇〇万円が二〇〇万円の金が貸しになる。

野島)それは皆之に申渡しかつてあると思ふが附大役変更によつて授舎として必要ならぬのを変更したのび一ス、ソコ内外となつて居る訳です

井橋)学校が約束上つて支拂ふところ迄款があるが一ス、ソコ内にはないから、すけておくれといふことはなうか。

「そうしてははない」

さういふから貸してやつて一日も早く完成して段々、これには逐漸期限を定めるニス、ソコ内かして日限を切つて返して行く。

高橋)町長、議事として最善な方法をき、ない。担保があるから融資は結構と思ふがその任に當つて居る者の考へはいいか。

橋本)ニス、ソコ内は別に考へて一ス、ソコ内の範囲内、その款を越さない程度であつてス、差支なうと思ふ。

村野盛)担保物件は、い、こ、送、え、確保しておくことだ

町長)担保に關しては、一切書類は役場が持つて居るからさうした心配はないと思ふ。何時返せといふ判断がつかない、あまりにこ、い、え、れ、を、い、い、過、期、する、こ、う、し、た、事、は、な、い、と、思、ふ、が、ソ、キ、ン、道、に行かると困る。今、さ、え、大、工、や、人、夫、が、ス、ト、を、し、た、こ、と、が、あ、る、が、その都度、二、人、の、議、事、に、こ、に、お、ま、し、く、使、つ、て、ま、つ、た、や、う、な、款、い、ある、こ、う、し、た、こ、と、も、あ、る、こ、に、こ、い、何、時、返、せ、と、い、ふ、こ、を、定、め、る、こ、い、ふ、こ、と、は、い、い、お、か、と、思、つ、て、居、る、。

村野盛)最悪の場合、い、こ、ニ、ス、ソ、コ、内、の、定、金、に、任、上、る、と、思、ふ、が、

野島)私、い、こ、う、お、ま、る、と、思、ふ、。

瀨古)結論は、い、こ、から、ソ、コ、内、の、ソ、コ、内、か、一、ス、こ、に、は、る、か、

町長)さうです。

橋本)現在に在るは期限の事を定める必要はないと思ふ。

高橋)完成してから期限の事についてはよいと思ふ。担保を取つ

とあることあり。

(野島)仕上るこの合の未拂額は現在までに二〇千円位ある

一〇〇〇

茅草小学校南校についで、教員の整備、校舎の修理等についで
紙があら。

五、傳染病院建築資金について

都議木崎武男氏との話し、西多摩町所長吉澤によつて借入
金としてこれを建築資金とした件について説明 明日三山につ
いてこの協議会が用済されるので、傍聴聴取したい旨の紙があ
り、午後七時四十分終了した。

福生町議会議員名簿(昭和三年十月四日定時協議会)

13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
欠	✓	✓	✓	✓	欠	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
船木甚平	村尾種吉	野島毎	貫井伊作	中野七五郎	高橋三郎	瀨古清藏	設樂美知	田村福一	井上頼太郎	森田喜一	石川武雄	田村政一
26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
✓	✓	✓	✓	署	署	署	欠	✓	✓	✓	✓	✓
高橋彦市	田村利一	西村節	村尾四郎	村野盛一	村野喜平	鮎沢美代子	森田誠重	田村幾太郎	井梅泰輔	橋本雄一	森田幸藏	並木竹松

協議会出席表

昭和二六 一〇四 午前三時四十分開会

協議会

地方競馬開催について

議長 地方競馬のことで、形は原案が来ているから、協議会の型式で意見を聞きたい。

山口 協議会の結論より、願書が到着中、昨日の夜までに、来たる要請について、

本日も来ている。中柳氏にも要請、それが成否は言はなからず、研究して返すところだ。

明後 昨日から行つての経過報告。

財務局の業課の話に依ると、加入するとは、農林省の形の許可が必要で、そうめんは、けいね。

許可のことは、地方課であるが、不埒主の、話、たゞ、美観は困難だ、このこと、不埒氏は否々。

議会で、説明、し、くれ、る、の、う、た。

許可の、なる、る、場合、回数、は、許可、が、一回、なら、一回、主催する、場合、馬と、も、つ、と、ふ、い、は、必ず、

も、つ、と、ふ、い、は、る、例、え、ば、馬、を、買、ひ、これ、と、し、て、さ、う、り、大井競馬へ、出、す、と、し、る、と、修、件、と、

する、場合、ある、開催、する、場合、は、準備、その他、の、費用、金、が、一、千、万、円、位、かかる、と、い、う、の、う、た、

浅川、では、金融、機関、から、借り、て、やる、今、年、は、赤字、は、ない、最、底、で、は、二、千、万、円、

